

医誠会国際総合病院では眼科最新機器を導入し 2025年から多焦点眼内レンズの選定療養も開始します



主任部長
新開 陽一郎

主任部長は網膜硝子体手術のスペシャリスト

新開主任部長は、当院赴任までに大学病院で7年間、主に緊急手術を中心に2000件程度の硝子体手術の実績があります。網膜の緊急症例のみならず、難治性網膜疾患にも対応致します。

緑内障手術も眼内法だけではなく、アーメド緑内障バルブやプリザーフロなどインプラント挿入手術にも対応致します。

医誠会国際総合病院眼科では、硝子体手術をはじめ、白内障、緑内障、角膜対応などすべての手術に最新機器を用いて対応致します。

● スリットランプ カールツァイス SL800

プレミアムな光学品質、定評あるツァイスレンズ光学系、切れの良いスリット照明系のコンビネーションにより、前眼部から後眼部まで高解像度の観察像、眼の詳細な観察を可能します。さらに、アポクロマート光学系は、構造の詳細を視覚化するために、色収差と球面収差を大幅に低減します。



● 超広角走査型レーザー検眼鏡 ニコン Silverstone

画角200度、眼底の約80%の領域を無散瞳、非接触で撮影します。合成カラー画像、レッドフリー画像、レッド画像、自発蛍光画像、フルオレセイン蛍光眼底造影画像、インドシアニングリーン蛍光眼底造影画像を1台で撮影できます。Swept Source光干渉断層計(OCT)を搭載。後極部から周辺部までのOCTスキャンが可能です。



● 光眼軸測定装置 アルコン ARGOS

術中サージカルガイダンスシステム アルコン VERION

白内障手術に必要とされる眼軸長(眼球の長さ)を含む生体計測から手術計画まで、1台でよりシームレスかつ精度の高い白内障手術前の検査・計画が可能。



● 眼科用顕微鏡 EnFocus 術中 OCT イメージングシステム ライカ Proveo 8

Proveo 8は最先端の広範な眼科顕微鏡ソリューションを取り揃え、前眼部および後眼部手術において患者さんがよりよい結果が得られるように術者をサポートします。EnFocus OCT を使用することで、術前評価と、術中の組織微細構造の変化に対するリアルタイムの評価が得られ、それに基づいて術中により良い手術プランを選択できます。



● 硝子体手術装置 ドルク EVA NEXUS

術者、システム、患者の状態を同期させ、それを維持できるように、先進の流体コントロールと進化したVacuFlowVTiテクノロジーを基にデザインされています。SMART IOP機能は圧力損失を自動で感知し、補填します。灌流圧をシステムで自動調整することで、圧力を一定に保ち、オクルージョンブレイク後でも前房の安定性が維持されます。VTiポンプは不要なパルセーションのリスクを排除し、硝子体手術中でもIOPをより一定に保てる次世代アクティブインフュージョンを供給します。

